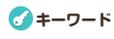


## 新・中学保健体育 224 学研 保体 728

## 観点別特色一覧

観点	特色：● / 具体例：➡
学習指導要領との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習指導要領に示されている方針、目標、内容、内容の取り扱いに基づいて、適切に内容を取り上げている。</li> </ul>
▶ 学習指導要領に示す事項を適切に取り上げているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 系統性を重視して内容を編成することはもちろん、各章の扉で小学校、中学校、高校の学習内容を見通すことができるようにし、小中連携や小中一貫教育につなげやすくしている。 ➡p.8, 34, 56, 84, 132, 146, 158</li> <li>● 心と体を一体として捉える観点を重視し、体育分野と保健分野の関連を図っている。</li> <li>● 随所に「関連」を設け、指導内容の系統性を示している。</li> </ul>
▶ 学習（指導）内容の系統性に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各章に扉を設け、学習内容を明示している。</li> <li>● 各項目の冒頭に「学習の目標」「キーワード」を設け、学習課題を明示している。</li> <li>● 本文中では、重要な語句を太字で示している。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">  </div>
▶ 学習（指導）内容の明確化に対応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ての項目に、「活用しよう」または「実習」を設け、その時間で習得した知識を活用する学習活動ができるようにしている。</li> <li>● 各章の「章のまとめ」で、「活用の問題」を設けている。 ➡p.33, 55, 83, 128~129, 145, 157, 169</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; background-color: yellow;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">  </div>
▶ 知識を活用する学習活動を取り入れているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読みやすく正確な本文により、科学的に理解できるようにしている。</li> <li>● 写真資料や工夫された図解などを豊富に掲載し、視覚的に捉えることができるようにしている。</li> </ul>
▶ 健康・安全に関する基礎的な内容を、科学的に理解できるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生命尊重、他者の尊重、個性伸長、生活習慣、自立、環境保全、公共心など、学習指導要領に示された道徳の内容について、保健体育科の学習全体を通して関連を図ることができるようにしている。</li> <li>● 保健体育科との関連が特に深い内容として、コミュニケーション (p.23~29, 31) やユニバーサルデザイン (p.123, 125)、ユニバーサルスポーツ (p.168) などを取り上げている。</li> </ul>
▶ 道徳教育との関連を考慮しながら、保健体育科の特性に応じて適切な指導ができるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生の生活と食事についての口絵 (p.4~5) や食生活と健康 (p.90~91) の学習によって、興味・関心を持って学習することができるように工夫している。</li> <li>● 思春期の発育・発達や生活習慣病の予防などで、バランスのとれた食生活が重要であること（「早ね・早おき・朝ごはん運動」など）を取り上げている。➡p.96</li> <li>● 脚注で「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことを取り上げている。➡p.91</li> </ul>
▶ 食育の観点を踏まえつつ、健康的な生活習慣の形成に結び付くような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 思春期の発育・発達 (p.10~13) や生活習慣病との関連 (p.88~97)、体力の必要性（災害から身を守る力） (p.154) などを取り上げ、体力や運動習慣の必要性に気づかせるとともに、体力測定の結果を活用した体力の高め方 (p.171) についても示している。</li> </ul>
▶ 体力向上に結び付くような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確実に習得させたい内容については、本文中丁寧記述し、健康・安全や運動・スポーツについての基礎的・基本的な内容をしっかりと習得できるようにしている。</li> </ul>
範囲・選択・扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 基礎的・基本的な内容が十分に習得できるような取り扱いになっているか。</li> </ul>

※この資料は、弊社ウェブサイト『学研 学校教育ネット』からダウンロードすることができます。

観点	特色：● / 具体例：➡
範囲・選択・扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各項目の学習活動において、話し合いや記述、発表などの言語活動を積極的に取り入れ、特に、言語活動が重要となるものには、言語マークを付けている。</li> </ul> <p>➡p.11, 13, 17, 21, 23, 24, 25, 73, 87, 101, 103, 105, 107, 108, 109, 117, 123, 141, 153</p>
体験的な学習や、基礎的・基本的な知識や技能を活用した課題解決的な学習が重視されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●随所に実習などを取り入れている。特に、口絵「行って見て学ぼう」では、実際に訪ねることを勧めている。</li> <li>●各項目の最後の「活用しよう」では、課題解決的な学習を多く取り入れている。</li> </ul>
生徒が学習したことを振り返られるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各章末の「章のまとめ」で、重要語句の確認、基礎的・基本的な知識の習得とその活用ができるようにし、これらを通して自己評価をすることができるようにしている。</li> </ul>
生徒が教え合い、学び合う協働学習を行えるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●協働学習として取り組みやすい課題を積極的に取り入れ、その課題には、協働マークを付けている。</li> </ul> <p>➡p.23, 29, 37, 38, 63, 73, 87, 108, 109, 117, 123, 164</p>
生徒の興味・関心や、学校や地域の実態に応じた指導ができるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各章末に「探究しようよ!」を設け、学習内容に関係が深く、興味を持ちやすい課題を取り上げている。</li> </ul> <p>➡適正体重を知ろう/ストレス (p.30), コミュニケーション (p.31), 熱中症とその予防 (p.52), 放射線と健康 (p.53), 離岸流/自転車事故と運転者の責任 (p.80), 犯罪被害の防止/熱中症の手当 (p.81), 脳死と臓器移植/ダイエット (p.124), インターネットと健康/医薬品の使い方/ユニバーサルデザイン (p.125), スポーツを見る/スポーツを支える活動 (p.142), メンタルトレーニング (p.143), スポーツの技術 (p.144), 体力の必要性-災害から身を守る力 (p.154), けがと練習計画 (p.155), けがの応急手当と再発予防 (p.156), オリンピック (p.166~167), スポーツと環境/ユニバーサルスポーツ (p.168)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習内容に関連した現代的な健康課題として重要なものを、「もっと広げる深める」として豊富な資料とともに取り上げている。</li> </ul> <p>➡人類と地球の未来のために (p.50~51), 自然災害 (p.68~69), 自然災害から身を守るために (p.70~71), がん (p.98), アレルギー (p.99), たばこ・酒・薬物に手を出さないために (p.108)</p>
防災学習については、どのように扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自然災害や二次災害における安全の確保の内容を充実させ(計6ページ)、過去の大きな災害から学ぶ教訓の形で展開している。また、「自助・共助・公助」の視点を提示しつつ、日頃の備えの重要性を学習できるようにしている。➡p.57, 66~71</li> <li>●災害から身を守るための体力の必要性について取り上げている。➡p.154</li> </ul>
心の健康やいじめの問題については、どのように扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●思春期の心の発達を重視し、社会性の発達や自己形成について各2ページ(各1時間)を充てている。➡p.22~25</li> <li>●コミュニケーション、欲求不満やストレスへの対処を充実させ、実習や具体的な資料を取り入れている。➡p.23, 26~31</li> <li>●いじめについて適切に取り上げ、さまざまな相談窓口があることなどを示している。➡p.23, 29</li> </ul>
コンピュータやインターネットを適切に活用できるような配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンピュータなどの使用について、保健体育科独自の視点から、健康・安全に配慮した内容を取り上げている。➡p.19, 59, 64, 93, 125</li> <li>●学習内容と関連させて、インターネットの安全な利用の仕方について取り上げている。➡p.19, 125</li> <li>●学習活動におけるコンピュータ (ICT機器) の活用について、実例の写真とともに取り上げている。➡p.139, 140</li> <li>●調べ学習などに有用なウェブサイトなどを随所で紹介し、その箇所にはリンクマークを付けている。➡p.51, 52, 62, 81, 91, 94, 100, 107, 112, 117, 121~124, 151, 162, 167</li> </ul>

観点	特色：● / 具体例：→	
<p>創意・工夫</p> <p>▶生徒が自主的・自発的に学習に取り組めるような工夫がなされているか。</p> <p>▶生徒が自らの課題を見つけ、主体的に解決していくための工夫がなされているか。</p>	<p>▶健康・安全に関する知識について、科学的な理解・認識ができるような工夫がなされているか。</p> <p>▶生徒が、身近な問題、自分の問題として実感できるような工夫がなされているか。</p> <p>▶生徒が、自らの将来について考えるための工夫がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各項目は、学習内容の把握から、基礎・基本の習得と活用、探究、学習の振り返りまでの進め方がひと目でわかるような統一感のある紙面構成になっており、スムーズに学習を進めることができる。</li> <li>●各項目の冒頭に「学習の目標」「キーワード」を設け、見通しを持って学習することができる。</li> <li>●各項目の導入に「ウォームアップ」を設け、興味・関心を持って学習に取り組むことができる。</li> <li>●各項目の随所に「エクササイズ」を設け、興味・関心を持ったり、課題解決を図ったりしながら学習を進めることができる。</li> <li>●各項目の最後に「活用しよう」を設け、その時間に習得した知識を活用して、思考したり、判断したり、表現したりする活動を行うことができる。</li> <li>●他領域などとの関連、実習、言語活動、協働学習などをわかりやすいマークで示している。また、「考える」「話し合う」などの学習活動の種類（そこで発揮されるべき力）もひと目でわかるように示している。</li> <li>●関連事項を脚注（「情報サプリ」）で数多く取り上げ、知識の深化や興味・関心の高揚を図っている。</li> <li>●学習の参考となるウェブサイト随所に示している。</li> <li>●健康の大切さを認識し、ヘルспロモーション、共生の視点を身に付けるための教材を盛り込んでいる。</li> </ul> <p>●健康・安全のための生活・行動の根拠を科学的に認識できるように（「しつけ」ではなく）、説得力ある文章と工夫された科学的資料で構成している。</p> <p>●写真や工夫された図解などで、視覚的に捉えることができるとともに、科学的な理解が深まるようにしている。</p> <p>●口絵で中学校生活と食事を取り上げる（p.4~5）など、生徒の日常生活と密接に関連した内容や課題を積極的に取り上げている。</p> <p>●写真資料として、地域の取り組みや施設、中学生の活動場面などを豊富に掲載し、身近な問題として認識しやすいようにしている。</p> <p>●学習活動では、日常生活と関連の深い題材を豊富に設けている。</p> <p>●各章の扉で、学習内容と関連した仕事や資格を紹介し、キャリア教育に活用できるようにしている。→p.9, 35, 57, 85, 133, 147, 159</p> <p>●オリンピックからのメッセージを掲載し、自分自身の可能性を信じ目標に向かって努力することの大切さを伝えている。→p.178</p> <p>●健康や安全を守る人を写真資料などで随所に登場させている。</p>
<p>程度</p> <p>▶内容は、生徒の発育・発達段階に適切しているか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●各内容は、生徒の発育・発達段階に適切しており、身近な問題・自分の問題として取り組むことができるようになっている。</li> </ul>
<p>組織・分量</p> <p>▶組織・分量は適当か。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●系統的・発展的に組織しており、全体の分量は適切である。</li> <li>●1単位時間2ページの構成でその分量は適切であり、見通しを持って学習できるように配慮している。</li> </ul>
<p>資料</p> <p>▶資料は最新で信頼性のある適切なものか。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料は最新で信頼性のある適切なものを取り上げており、見やすく活用しやすいように工夫されている（供給前にはさらに最新の資料に更新される）。</li> <li>●生徒が自主的・自発的に学習を進めたり、学習を深められたりするような資料が充実している。</li> </ul>
<p>表記・表現</p> <p>▶表記・表現は適切か。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●本文や資料の解説文、コラムなどは、正確で簡潔に記述している。また、人権や個人差などに配慮して記述している。</li> <li>●図解やグラフなどは、カラーユニバーサルデザインに完全に対応（コントラストの調整、線種による区別、区切り線、図中への直接記入など）しつつ、視覚的に捉えやすいように表現している。</li> <li>●活字は大きく、見やすい書体を使用している。また、資料などでは、読み違いを起こしにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>●レイアウトを工夫し、常に同じ視線の流れで学習できるようにするとともに、ブロック単位の配置で、豊富な情報量でも見やすくわかりやすくしている。</li> </ul>

観 点		特 色：● / 具 体 例：➡
印刷・造本	▶印刷は鮮明で見やすいか。	●印刷は鮮明である。全ページカラー刷りで、色彩は目にやさしくソフトである。
	▶製本様式は適切で、堅牢か。	●製本は針金を用いないあじろ綴で、特殊加工を施しており、安全かつ堅牢である。
	▶用紙やインキ、製本は環境に配慮しているか。	●印刷には、環境に配慮して作られた紙、植物油インキを使用し、環境負荷の小さいCTP方式で印刷している。 ●製本には、リサイクル性の高いPURのりを使用している。

## ◆教育基本法との関連

※表中の [ ] は、該当箇所、ページの例。

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色
<b>第1号</b> 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保健体育科の目標、学習内容そのものであり、前述の観点別特色一覧で示したように教科書全体を編集している。[教科書全体]</li> <li>●日本各地の健康・安全・スポーツに関する施設や史跡を取り上げている。[前見返し~p.1]</li> <li>●保健体育関連の書籍や映画を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付ける態度を養えるようにしている。[p.3]</li> <li>●各章の扉で、学習内容に関連した偉人の功績や名言を紹介している。[p.9, 35, 57, 85, 133, 147, 159]</li> <li>●スポーツ活動が、心身の発達や心の健康に効果があることを理解できるようにしている。[p.148~149]</li> </ul>
<b>第2号</b> 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・安全・スポーツの分野で、世界で活躍する人を取り上げ、個人の能力の発揮や、生活と職業の関係を身近にしている。[p.2]</li> <li>●各章の扉で、学習内容に関連した職業や資格を紹介し、職業と生活との関係を身近にするとともに、勤労の尊さに気づくようにしている。[p.9, 35, 57, 85, 133, 147, 159]</li> <li>●心の健康では、個人の価値の尊重に関わるようないじめの問題を鑑み、社会性の発達、自己形成、コミュニケーションに重点を置いている。[p.20~29, 31]</li> <li>●保健・医療機関や健康を守るための活動の具体例を挙げ、公的に行われる職業の重要性を学べるようにしている。[p.118~119, 122~123]</li> <li>●スポーツの人々を結び付ける動きを学習することで、他者を尊重する態度を養えるようにしている。[p.165]</li> <li>●オリンピック（金メダリスト）から中学生へのメッセージを掲載し、自分自身の可能性を信じて目標に向かって努力することの大切さに気づくようにしている。[p.178]</li> </ul>
<b>第3号</b> 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康や生涯にわたるスポーツライフの実現のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを基本的な編集方針として記述、構成している。[教科書全体]</li> <li>●健康・安全・スポーツの分野で、世界で活躍する人を取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずる態度に気づくようにしている。[p.2]</li> <li>●心身の発達と心の健康の学習を通して、かけがえのない自分に気づけるようにするとともに他者を尊重する態度を養えるようにしている。[p.8~33]</li> <li>●地域における防犯、防災の取り組みを「自助・共助・公助」の視点から取り上げている。[p.64~71]</li> <li>●東日本大震災での中学生の活躍を紹介し、中学生が主体的に社会に関われることを示している。[p.71]</li> <li>●スポーツを支えるボランティアなどの重要性を学べるようにしている。[p.137, 142]</li> <li>●スポーツに求められる社会性について学ぶことを通じて、ルールやマナーを守ることや他者を尊重することなどの重要性に気づくようにしている。[p.150~151]</li> <li>●東日本大震災の支援にスポーツの力が貢献したことを取り上げている。[p.161]</li> </ul>
<b>第4号</b> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・安全の分野で、世界で活躍する人を取り上げ、環境保全の大切さに気づくようにしている。[p.2]</li> <li>●心の健康では、生命尊重に関わるようないじめの問題を鑑み、社会性の発達、自己形成、コミュニケーション、ストレスへの対処に重点を置いている。[p.20~29, 31]</li> <li>●健康と環境の学習を通して、環境を保全することの大切さを記述している。[p.34~55]</li> <li>●野外スポーツの安全な行い方を学ぶ中で、自然を大切にすることを学べるようにしている。[p.153]</li> <li>●スポーツと環境（自然）が関わっていることを学べるようにしている。[p.168]</li> </ul>
<b>第5号</b> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康・安全・スポーツの分野で、世界で活躍する人を取り上げている。[p.2]</li> <li>●各章の扉で、学習内容に関連した日本の偉人の功績や名言を紹介している。[p.57, 85, 147, 159]</li> <li>●公害から学んだ教訓を世界の持続的な発展のために人類全体で共有する必要性に触れている。[p.48~51]</li> <li>●地震による被害に基づいた教訓として伝えられてきた「津波でんでんこ」を取り上げている。[p.71]</li> <li>●医学の分野で世界的な業績を上げた山中伸弥氏を取り上げている。[p.84]</li> <li>●脚注で、感染症の治療薬を開発した日本人を取り上げている。[p.114]</li> <li>●嘉納治五郎の発言を基に、日本の伝統的な心の習慣について学べるようにしている。[p.164]</li> <li>●パラリンピックの名称が日本で生まれたことを取り上げている。[p.167]</li> <li>●日本とオリンピックについての豊富な資料で、スポーツを通じた国際平和への貢献を学べるようにするとともに、大会で活躍した人や競技を支えてきた職人などを通じて、我が国に誇りを持てるように工夫している。[p.175~178]</li> </ul>